



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030
伊原 忠 ☎047-488-7207
飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ
<https://jcp-yachiyo.jp>



日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

第616号
2023年11月20日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

八千代市のコミュニティバスを求める声

千葉県内における地域公共交通の現況は、全54市町村の中で、40市町村152路線のコミュニティバスを運行、さらに23市町でデマンド型交通を運行しています。(2021年現在)

その一方で、八千代市はコミュニティバス1路線のみの運行に留まっています。

八千代市のコミュニティバスは、近隣市に先駆け1998年3月から公共施設循環バス「ぐるっと号」として4路線が運行されていましたが、2021年8月末をもって廃止、翌9月からは八千代台コースのみが試行運行を経て現在まで継続しています。

しかし、八千代市は市役所や市民会館、中央図書館(市民ギャラリー)など、多くの公共施設が駅から離れた不便なところにあるため、高齢者や体が不自由な方々を中心に、「コミュニティバスがあれば」という再開を求める声が多くあがっています。

さらなる利便性を追求する各務原市

八千代市都市常任委員会では、11月9日に岐阜県各務原(かかみがはら)市の公共交通について視察しました。

各務原市(人口約14万5千人)では、2つの鉄道路線、11の民間バス路線がある中で、7路線のコミュニティバスを運行しています。

さらに「ふれあいタクシー」を運行していましたが、タイヤが分かりづらいなどの問題を解決すべく、新たなデマンド型交通「チョイソコ」の導入を決定し、2年間の実証運行を経て本格運行することで利便性を向上させ、さらにお出かけ促進にも取り組んでいます。



写真：名鉄「各務原市役所前駅」の前では、民間バスとコミュニティバスが共存しています。

そのほか、各務原市では利用促進として、運転免許証自主返納支援事業として交通系ICカードを配布する取り組みを進め、住民との対話を毎年定期的を実施するなど、次の改正に反映・議会報告することで、常に進化させていく姿勢をとっています。

これからの八千代市に求められるものは

八千代市では、過去の問題を精査し、住民との対話を実施したうえで早急にコミュニティバスとデマンド型交通の運行を急ぐべきです。さらに運行後も住民との対話によって、持続可能な事業として、各務原市のように進化させていくことが求められます。

八千代市の高津地域では、団地を中心とした住民が集まり「コミュニティバスを走らせる会」が発足するなどの動きが始まっています。

日本共産党は、市民とともに暮らしやすい八千代市に向けて引き続き頑張ります。